スーパーサイエンスハイスクール

平成21年度予算額 ： 1,489百万円
（平成20年度予算額 ： 1,482百万円）
運営費交付金中の推計額を含む

背景
・「第3期科学技術基本計画」の実現（第3章 「才能ある子どもの個性・能力の伸長」） ○理数教育を重視する高等学校等に対する支援制度を拡充する
・総合科学技術会議「革新的技術戦略」の実現（2.（2）「次の世代の挑戦する人材の確保」） ○地域全体の理数教育の質の向上を図る中核的拠点校を支援する「SSH中核的拠点育成プログラム（仮称）」の導入を検討

目的
高等学校等において、先進的な理数教育を実践することにより、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を推進する。

概要
高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進する。また、創造性、独創性を高める指導方法、教材等の開発等の取組を実施する。

文部科学省
SSH企画評価会議

学校の指定（5年間）
指導・助言・評価

管理機関
（教育委員会、学校法人、国立大学法人）

指導・助言・評価

連携・協力

科学技術振興機構（JST）
・SSHの研究開発についての各種経費支援（備品・消耗品、講師謝金、交通費等の経費執行事務）
・SSH事業の具体的な取組や評価の在り方について検討・実施
・SSH連携協議会/生徒研究発表会の開催
・SSHの成果の普及
・その他、SSHの活動への支援　等

支援協力

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）
・観察・実験等を通じた体験的学習、問題解決的な学習、課題学習の推進
・理科、数学教育の重視
・大学、研究機関、民間企業等との連携方策の研究
・国際性を育てるために必要な語学力の強化（英語での理数授業、講義、プレゼンテーション演習等）
・創造性、独創性を高める指導方法の研究等
・国際的な科学技術、理数系コンテストへの積極的な参加　等

SSHとの連携に関して支援・協力

連携　海外の理数学習重点校

連携　研究機関・民間企業等

連携　SSH連携対象大学

＜拡充＞「革新的技術戦略」

SSH中核的拠点育成プログラム
５０百万円
◆地域の拠点形成
（経験年数の長いSSH校を中心に、非常に取組が優れているところを地域拠点校として支援）
SSHノウハウ・成果の普及、地域全体の理数教育の充実・質の向上

SSH　SSH指定校以外
中核SSH　SSH指定校以外
SSH　SSH

高大接続の改善
SSH運営への参画、長期の共同研究を行うことを通し、高等学校段階の教育成果の評価の知見を蓄積

SSH校活動への参加・支援、長期共同研究等を通し、
・高等学校及び大学における理数教育の改善/充実
・高校生の理数系能力の伸長
・SSHプログラムの評価や知見の蓄積に関する研究　等
大学側もSSH事業に積極的に参画

発展的な連携活動機会の設定
◆「異」との交流（海外の理数学習重点校との国際交流）
◆発展的・全国的な研究連携（SSHコンソーシアム）
◆指定校・教員間連携